

■ 形式

RF-24

DC24V系

■ 用途

電流信号 DC4-20mA

電圧信号 DC0-10Vなど

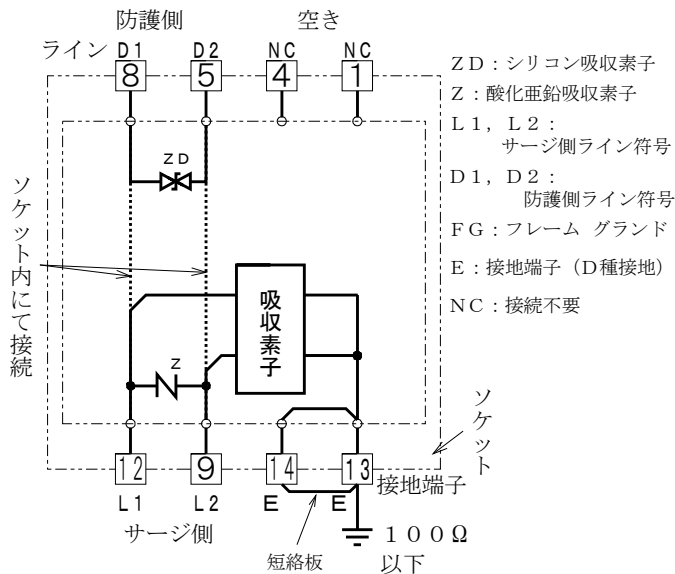
■ 性能

形式	RF-24	
最大連続使用電圧 (Uc)	線間	DC31V
	各線接地間	DC150V
漏れ電流	線間	2μA以下 (最大連続使用電圧にて)
	各線接地間	1μA以下 (最大連続使用電圧にて)
制限電圧	線間	73V以下 (8/20μs)
インパルス電流 (Imax)	10kA (8/20μs)	
インパルス耐久性	カテゴリC2	8/20μs 5kA (10回)
	カテゴリD1	10/350μs 2.5kA (2回)
動作開始電圧	線間	DC35~43V
	各線接地間	DC184~276V
内部ライン抵抗	約0.1Ω	
最大負荷電流 (In)	DC100mA	
応答時間	4ns	

■ 特長

- ・サージ吸収能力が大きく、応答速度が早い。
- ・DINレールに取り付け可能です。
- ・並列接続で追加取り付け工事も簡単です。
- ・エレメント部をはずしても信号は途切れません。
- ・省スペースでしかも軽量です。

■ ブロックダイアグラム



■ 設置仕様

使用温度範囲: -10~+60℃

使用湿度範囲: 5~90%RH以下 (結露しないこと)

寸法: W22×H71×D67

重量: 約58g

RoHS指令: 適合

JIS対応: JISC5381-21 カテゴリC2, D1

■ ソケット仕様 (標準付属品)

形式: PYF08A-S

構造: プラグイン構造

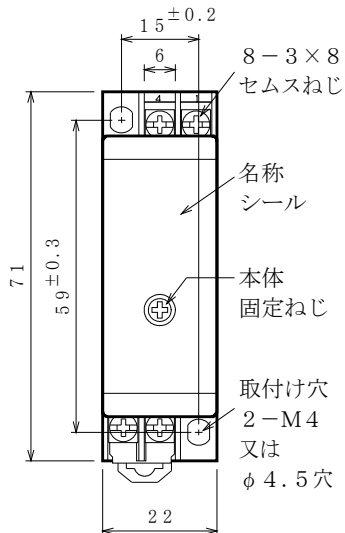
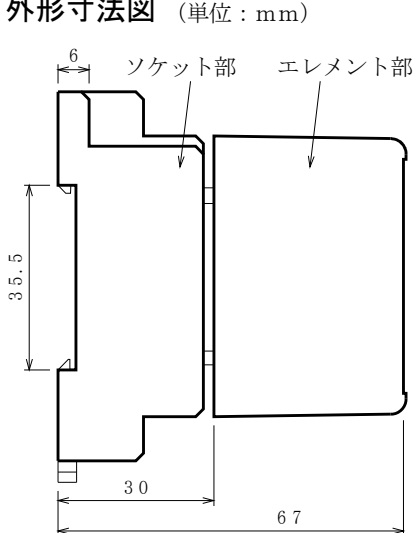
接続方式: M3ねじ端子接続 (締付トルク1.2N・m以下)

端子ねじ材質: 鉄にクロメート

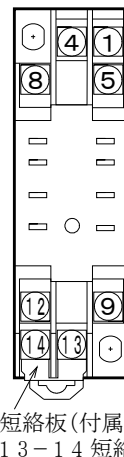
ハウジング材質: 黒色プラスチック (難燃性)

取付: 直取付けまたはDINレール取付け (35mm巾)

■ 外形寸法図 (単位: mm)



■ 端子配列

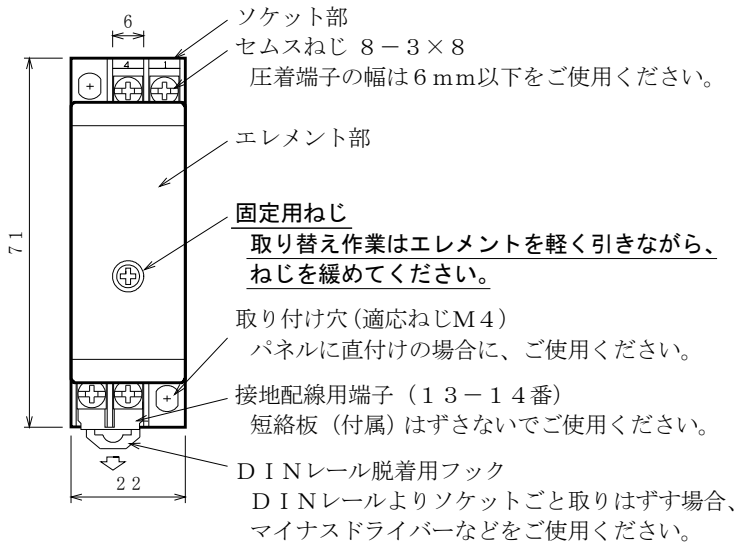


端子名称	番号	符号
防護側	8	D1
	5	D2
サージ側	12	L1
	9	L2
接地	13-14	E
空き	4	NC
	1	NC

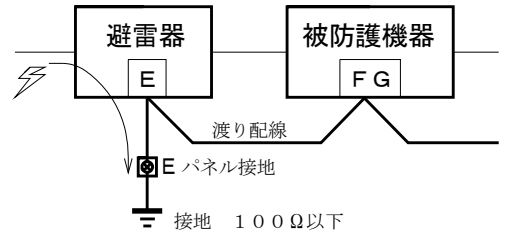
RシリーズのModel RF-24は、DC4-20mAなどの直流アナログ信号ラインに起因する、誘導雷サージより機器を防護する避雷器です。

本器をより効果的にご使用いただくために、下記の事項をご確認の上ご使用ください。

■ 各部名称 (単位: mm)

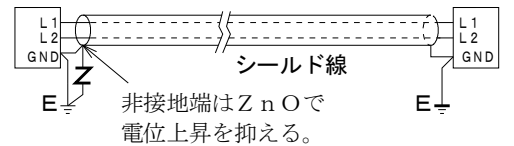


■ 効果的な渡り配線



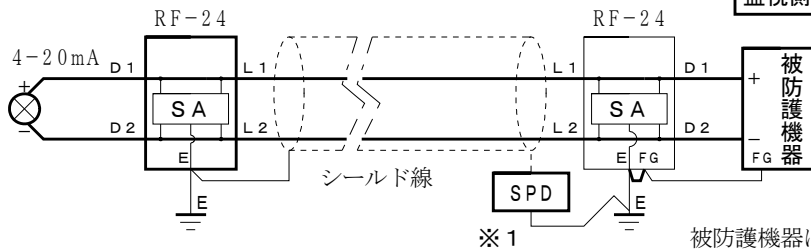
防護したい機器のフレームグランド端子を避雷器の端子Eに接続してからパネル接地端子に接続すると、被防護機器には雷サージが及ばないようになります。

■ 効果的なシールド端対策



■ 接続例

現場側



SA: サージ吸収素子 E: 接地端子 (D種接地)
L1, L2: ライン符号 FG: フレーム グランド
SPD: サージプロテクター

被防護機器にフレームグランド (FG) のない場合は、避雷器のみ接地をおこなってください。

■ 接続方法

- 1) 接地工事はD種接地(100Ω以下)にて必ずおこなってください。
- 2) 接地線はできる限り最短距離にて接続してください。線サイズは2mm²以上にておこなってください。
- 3) 誘導雷対策としては予備線やシールド非接地端に生じる浮遊容量による充電電圧対策もご検討願います。(※1) 両端接地が最適ですが、現場によりできない場合は非接地端にシールド用避雷器SC-E270の取り付けをお勧め致します。

■ 使用上の注意事項

- 1) 取り付け時、形式の確認をおこなってください。ソケットにエレメントの形式を表示しています。
- 2) 絶縁抵抗試験時は、漏れ電流により不良と見誤ることがありますので、エレメント部を外しておこなってください。

■ 定期点検の方法

- ・わからない間に誘導雷サージを受けている場合があります。雷シーズンの前後年2回位、定期点検の実施をお勧め致します。交換用避雷器の手配中に被防護機器がサージを受けて破損することも考えられます。予備品の在庫をお勧め致します。
- ・避雷器専用の簡易チェッカーCLA-2000 (2000V用) をご使用ください。

■ 保証期間

仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、1年間とします。ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。